

防災ボトルを作ってみよう

バッグに入れて手軽に持ち歩け、外出先で自然災害に遭ったときや大雪の際などに当座の危機をしのげる防災ボトル。警視庁のX(旧ツイッター)で紹介された広まった防災ボトルを組合員が実際に作ってみました。

教えてくれた人 /

北 智子さん

防災士。ポリ袋に材料を入れて加熱調理するだけで災害時に温かい料理が食べられるポリ袋レシビを町内会・婦人会・子ども食堂などで教えている。災害に備えた知識を身に付ける防災クイズで楽しく学べる取り組みにも力を入れている。



どうして防災“ボトル”？

災害は自宅や屋内にいるときに起こるとは限りません。

自宅に防災リュックや災害備蓄品を備えるとともに普段持ち歩くバッグの中に防災ボトルを携帯すれば外出時も安心です。密閉できるプラスチック製なので丈夫でつぶれにくく水にも強いので、給水された水の携帯にも役立ちます。



小松市 tokitokiさん(60代)



バンドナはケガ対応、首の防寒など、役立ち度満点。

マスク・バンドナ・カイロ・ペンライト・鈴・常備薬・ばんそうこう・あめ・チョコレート・現金(お札・小銭)・チャック付きポリ袋

「コンパクトに最低限のグッズが常備できるボトルとなりました。ペンライトは意外に忘れがち。スマホの機能にもありますが、充電のことを考えたら必須。」

金沢市 パナナさん(30代)



珠洲で震災に遭い歯磨きができないときにマウスウォッシュが活躍しました。

ホイッスル・圧縮タオル・ミニライト・マウスウォッシュ・常備薬・ばんそうこう・アルコール消毒綿・ラムネ・現金(お札・小銭)・メモ紙・ボールペン・カイロ

「意外と入るんだなあとびっくりでした。地震、水害などを体験し、備えの大切さを痛感しました。季節によって必要なものなど、定期的に避難バッグの中身を確認しています。」

金沢市 C・Sさん(40代)



水を入れたときに手が空けられるようストラップを付けました。

現金(お札・小銭多め)・メガネ・ライト用の電池・ホイッスル付きライト・ようかん・アルコール消毒綿・ばんそうこう・ビニール袋・携帯トイレ

「入れたいものがたくさんあったのですが、容量が限られていたので多くは入れられませんでした。防災ボトルを作ったことによって防災への意識が高まり、グッズをそろえて防災バッグを家族全員分準備しました。」

組合員が作った防災ボトルをご紹介します！

作ってみました！

金沢市 おにぎりずさん(40代)



撥水ペーパーに自分の生年月日や血液型、食物アレルギーの有無や家族の連絡先を書いたメモを入れました。

ホイッスル付きライト(蓄光タイプ)・使い捨てマスク・買い物袋・使い捨てナプキン・チャック付きポリ袋・使い捨て手袋・自分や家族のメモ・長期保存用ようかん・ばんそうこう・お札

「口径の小さいものだと出し入れがしづらいので、ボトル選びが一番難しかったです。中身を変えて、家族の分も作りたいと思いました。車のトランクには水など、非常時に役立ちそうな物資を入れておこうと思いました。」

金沢市 パンパーさん(50代)



排水溝用ネットにイヤホンとスマホ充電器を入れました。コンパクトに仕分けでき、もしかしたら災害のとき何かに使えるかもと思いました。

イヤホン・スマホ充電器(USBとコンセント)・ゴム手袋・ばんそうこう・アルコール綿棒・薬・現金(お札・小銭)・ゴムベルト付きライト・災害用トイレセット(ビニール袋・凝固剤・ティッシュ)

「詰めてみて意外と入らず本当に大切なものを吟味することで、防災意識を高める時間となりました。ようかんは泣く泣く抜きました(笑)。もともと大きめのカバンに防災用品は多少詰めてあり、その中から今回入れるものを選びました。」

羽咋市 パンダさん(50代)



すき間に入れたチロルチョコがポイント。夏にはゼリーに。いろいろな場面で使えると思い手拭いも。

現金・ようかん・ホイッスル・トイレセット(エチケット袋・凝固剤)・チョコレート・ミニライト・サインペン・手拭い・ウエットティッシュ・メモ帳・ばんそうこう

「以前から防災ボトルは気になっていました。スマホが使えなくなったときを想定してメモ帳に緊急連絡先を書きました。中身は日々変わっていくと思いますが、とりあえずこれを持っていれば安心できるので持ち歩こうと思います。」

七尾市 パナナさん(40代)



断水のときに携帯簡易トイレは必要だと痛感したので準備しました。

携帯簡易トイレ・小銭・コンパクトタオル・ホイッスル・LEDライト・チャック付きポリ袋(大・小)・栄養食品・ばんそうこう

「防災リュックを買ったことに満足していましたが、今年の元日の地震では買い物中で、常に持ち歩いていないと意味がないなと思ってボトルにしてみようと思いました。実際に使えるようにしておくことが大事だと思いました。」

防災ボトルにこれだけは！

簡易トイレ

トイレ対策は必須です。いろいろなタイプがありますが1回分の携帯簡易トイレをたくさん購入すると費用がかさむため、個包装された凝固剤と中身の見えない厚手のポリ袋を組み合わせると費用が抑えられます。どちらともインターネットやホームセンターなどで購入できます。

ホイッスル

がれきの下敷きになったとき、崖から落ちたときなどに助けを呼ぶことができます。

ばんそうこう

水に強いタイプがおすすめ。

懐中電灯

アルコール消毒液

小さい容器に小分けにしたもの。

食べ物

空腹時や疲れたときに甘いものがあるといいですね。

ウエットティッシュ

肌が弱い人はアルコールが使われていないもの。

マスク

集団の中にいるときの必需品です。

防災ボトルを作った費用は？

自宅にあるものを詰めた人がほとんど。作成費用0円が最も多く、防災グッズを買い足した人でも500円で作ることができました。

ボトルは口が広いものを

口が狭まっているものは中身の出し入れが難しかったです。100円均一でもさまざまなタイプがあるので探してみてください。



防災リュックと合わせて準備するといいですね



「被災したら何が起こる？自分には何が必要？」

想像力を働かせグッズを取捨選択する中で、わが家の備えや自分の防災意識を見直すきっかけにつながります。今回の防災ボトルを作った後に

親や子どもの分も作って持たせた人も。あなたの防災ボトル、作ってみませんか。

